

ヨコレイ NOTE VOL.10

第66期中間報告書

(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

ごあいさつ・財務ハイライト P1

what's ヨコレイ VOL.1 P2

冷蔵倉庫事業 編

営業の概況・事業別の概況 P3

中間連結財務諸表(要約) P4

会社情報 P5

シリーズ企画 P6

世界の食事情① さかなの供給量

この笑顔が「食の安全・安心」のあかし



代表取締役社長 **吉川 俊雄**

「人」に「もの」に「地球」に“優しい” 食品流通のエキスパート

株主の皆さまにおかれましては、日頃のご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

第66期中間期（平成24年10月1日から平成25年3月31日まで）の経営環境は、新政権が打ち出した「アベノミクス」や「異次元の金融緩和」などの各政策により、金融市場が先行して反応し、急速な円安・株高が進行しましたが、企業収益の本格的な回復や消費マインドの向上に反映されるには、まだ時間もかかり、また不確定な要素も含んでいるものと思われま

す。このような状況のもと、冷蔵倉庫事業は東日本大震災の影響による回転率の低下や、高在庫状態が徐々に収束の方向にあり、食品販売事業は、前期主力水産物の大幅な需給悪化により、セグメント損失を計上しましたが、相場はいまだ低水準ながらも安定性を取り戻し、緩やかな回復途上にあることにより、グループ全体では減収増益となりました。

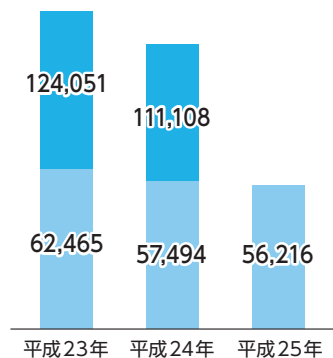
当社グループは、第四次中期経営計画（3ヵ年）の2年目を迎え、事業運営方針の柱である「コア事業の強化」と「成長力の強化」に基づき、業績の回復、向上に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

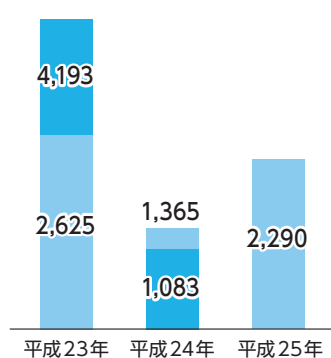
売上高（百万円）

■ 中間 ■ 通期



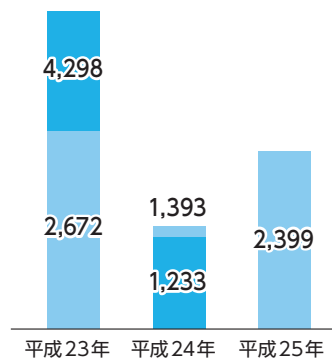
営業利益（百万円）

■ 中間 ■ 通期



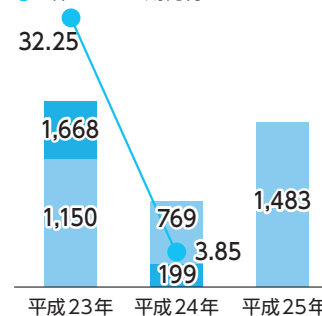
経常利益（百万円）

■ 中間 ■ 通期



中間(当期) 純利益(百万円) / 1株当たり当期純利益(円)

■ 中間 ■ 通期
● 1株当たり当期純利益



食品を中心に、お客さまからお預かりした貨物を最適な条件下で保管し、先進の物流・情報システムにより、ジャスト・イン・タイム物流の一翼を担っています。


港湾型・物流型・産地型、3タイプの冷蔵倉庫で、多様なニーズに対応しています。

収容能力は、約746千トンの規模を誇り、業界第2位の地位を維持し安定的な成長を支えています。




業界第2位の収容能力を誇る 冷蔵倉庫事業

1 港湾型




全国の主要貿易港に位置し、製品や食品原材料の輸入貨物を中心に高品質な保管サービスを提供しています。
貨物の輸出入手続きに必要な豊富な専門知識を持ったスタッフが、スピーディな通関サービスを提供しています。

2 物流型

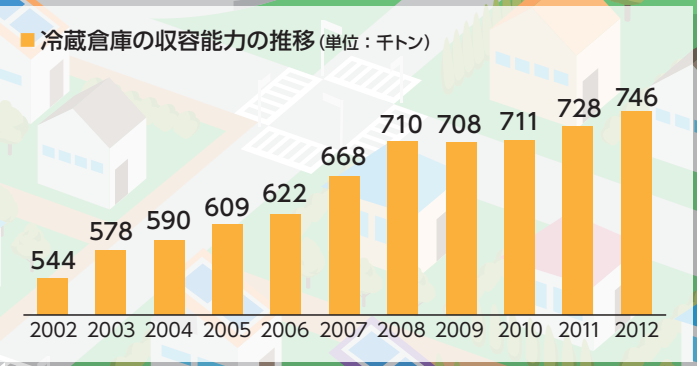


主要幹線道路のインターチェンジ等に位置し、コンビニエンスストアや外食チェーン等の製品を保管しています。
ピッキングや配送機能をはじめとした高品質のサービスを提供することで、お客さまの多様なニーズに応えています。

3 産地型



全国の主要な漁港や農産地に位置し、水揚げされた水産物や収穫された農産物を適切な温度帯で保管しています。また、当社の冷凍技術を活かし高品質な状態で凍結加工をして、新鮮な食品を安定供給するお手伝いをしています。



営業の概況

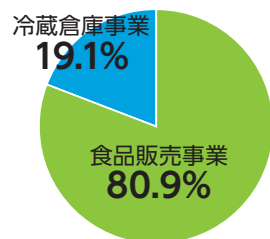
当中間期の概況

- 金融市場は景況感を取り戻しているが、企業収益の本格的な回復や消費マインドの向上に反映されるには時間もかかり、また不確定な要素も含んでいる状況。
- 冷蔵倉庫事業は東日本大震災の影響による回転率の低下や、高在庫状態が徐々に収束の方向。
- 食品販売事業は、主力水産物の相場は、いまだ低水準ながらも安定性を取り戻し、緩やかな回復途上。

事業別売上高構成比

当中間期（平成25年3月期）
売上高合計

56,216百万円



通期の見通しと業績予想

冷蔵倉庫事業は国内外ともに引き続き順調に推移していることに加え、食品販売事業においても、水産物市況が低水準ながらも緩やかな回復途上にあることを踏まえ、業績に与える影響について見直しをいたしました。

その結果、期首の公表数値を大きく上回る見込みとなりましたので、下記の通り業績予想の修正をいたしました。

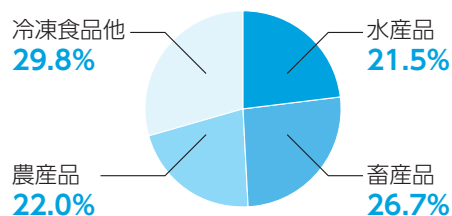
売上高	112,000	百万円
営業利益	4,000	百万円
経常利益	4,000	百万円
当期純利益	2,300	百万円
1株当たり当期純利益	44円45銭	

事業別の概況

冷蔵倉庫事業

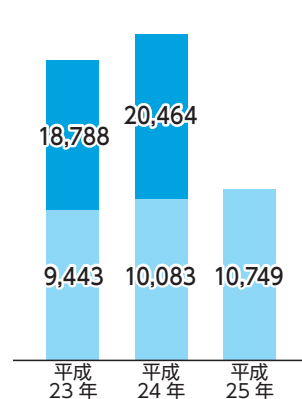
- 昨年スタートした「物流アウトソーシングサービス」は、安定的な進捗をみせ、通関収入や流通加工収入が順調に増加するなど業績に寄与。
- タイ国ワnoi物流センターが順調に推移し、連結子会社タイヨコレイ(株)が大幅な増収増益。
- 売上高10,749百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益2,758百万円（前年同期比15.3%増）と増収増益。

当中間期在庫量品目別割合



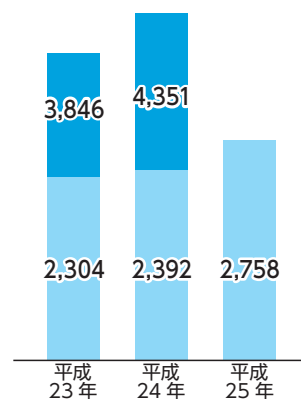
売上高

■ 中間 ■ 通期 (百万円)



営業利益

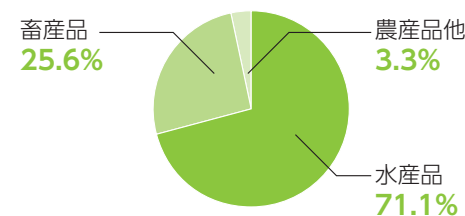
■ 中間 ■ 通期 (百万円)



食品販売事業

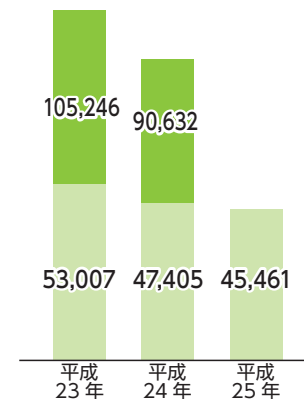
- 鮭鱒類やサバなどの主力商材について、市況を十分に注視した取組販売を推し進めたことにより、利益面が改善。
- 畜産品は前期低迷したチキンの相場が回復し、またビーフも堅調な販売を行ったことにより、大幅な増収増益。
- 売上高は45,461百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益は431百万円（前年同期は2百万円の営業利益）と減収増益。

当中間期品目別売上高構成比



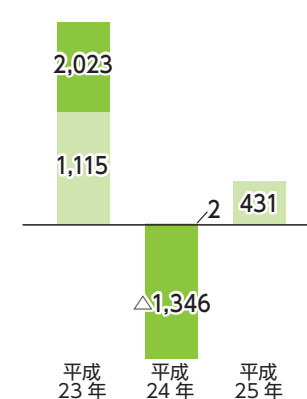
売上高

■ 中間 ■ 通期 (百万円)



営業利益

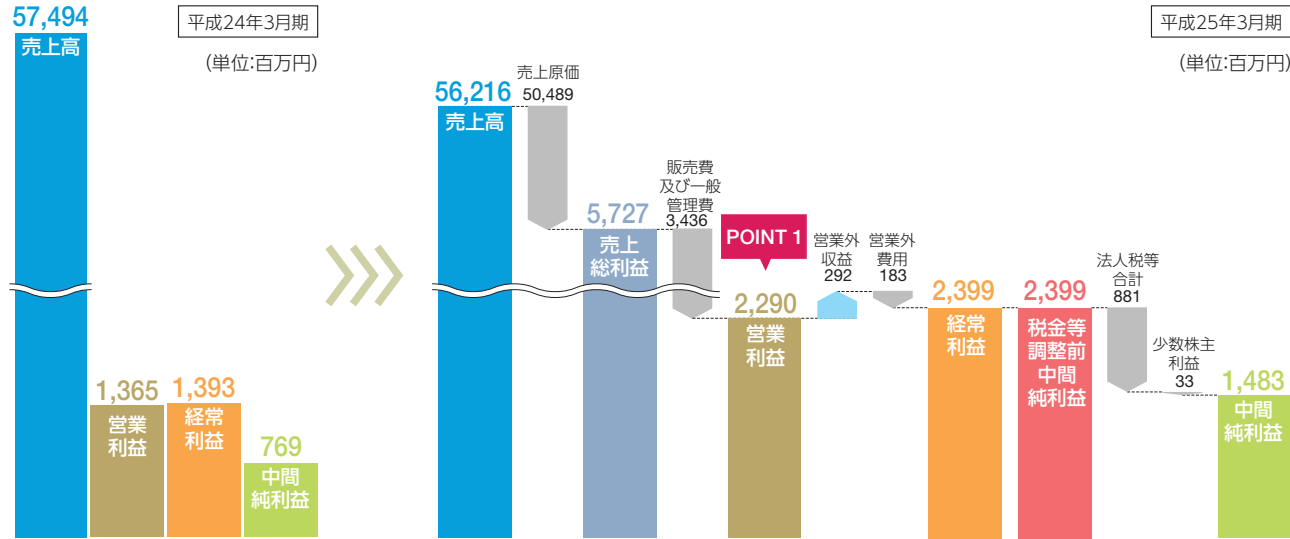
■ 中間 ■ 通期 (百万円)



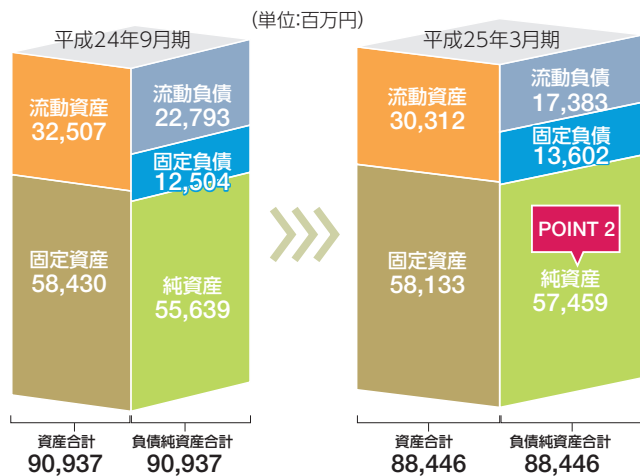
中間連結財務諸表 (要約)

中間連結財務状況

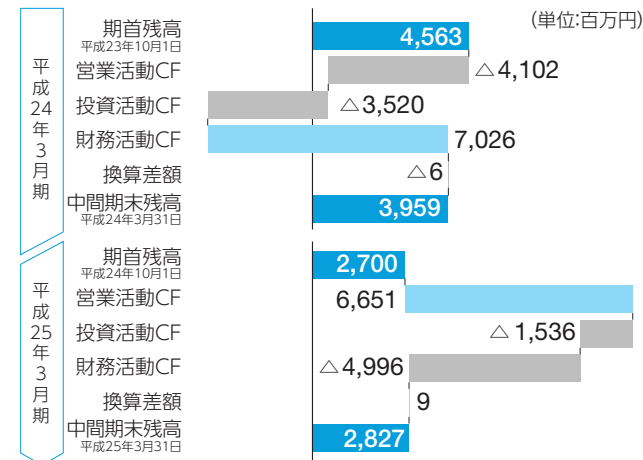
損益の状況



資産・負債・純資産の状況

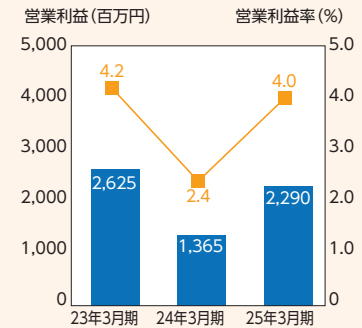


キャッシュ・フローの状況



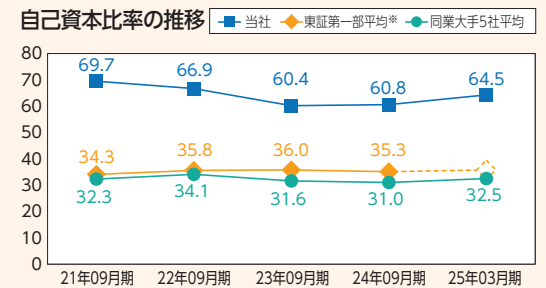
POINT 1 収益体質を改善

冷蔵倉庫事業は国内外ともに順調に稼働し収益に貢献。食品販売事業は前期、需給悪化した水産相場が底を打ち、緩やかな回復基調を示し、総体の営業利益率は大きく改善されて来ました。



POINT 2 厚い自己資本による安定成長

ここ数年低下傾向にあった自己資本比率は、在庫や借入金の圧縮を進めた結果、改善が図れました。財務体質の健全性を維持し、安定成長を目指します。



* 東証第一部平均値、同業5社平均については、それぞれ3月期の数値となっております。

会社概要 (平成25年3月31日現在)

会社名 横浜冷凍株式会社

本社所在地 〒220-0012
横浜市西区みなとみらい四丁目6番2号
みなとみらいグランドセントラルタワー7階
TEL: 045-210-0011 (代表)
FAX: 045-210-0018

設立 昭和23年5月13日

資本金 11,065,926,625円

従業員数 連結 1,215名 単独 967名

業務内容 1. 冷蔵倉庫業並びに普通倉庫業
2. 水産品の加工、販売並びに輸出入
3. 農畜産物の加工、販売並びに輸出入
4. 不動産賃貸業
5. 通関業
6. 貨物利用運送事業並びに貨物自動車運送事業
7. 食堂及び喫茶店の経営並びに飲食物の販売
8. その他前各号に付帯関連する一切の事業
(定款における事業目的)

役員および執行役員 (平成25年3月31日現在)

代表取締役社長	吉川 俊雄	監査役(独立)	棚橋 栄蔵
常務取締役	岩淵 文雄	監査役	西元 徹也
常務取締役	水野 隆明	上席執行役員	大久保 孝一
取締役	中西 啓文	執行役員	笹崎 等
取締役	井上 祐司	執行役員	岩倉 正人
取締役	千田 重賢	執行役員	畑山 敬二
取締役	飯島 敏正	執行役員	竹村 文男
取締役	西山 敏彦	執行役員	松原 弘幸
取締役	越智 孝次	執行役員	野崎 博嗣
常勤監査役	田中 明彦	執行役員	吉橋 伊知男
常勤監査役	阿部 博康	執行役員	池田 浩人
		執行役員	宮内 英治

ネットワーク (平成25年3月31日現在)

冷蔵倉庫事業 40拠点

北海道・東北ブロック
喜茂別物流センター
十勝物流センター
十勝第二物流センター
石狩物流センター
八戸物流センター
気仙沼冷凍工場
仙台物流センター

関東ブロック
加須物流センター
加須第二物流センター
鶴ヶ島物流センター
東京物流センター
東京第二物流センター
大黒物流センター
横浜物流センター
子安物流センター
山内物流センター
伊勢原物流センター

中京・東海ブロック
小牧物流センター
名古屋物流センター
中川物流センター
沼津物流センター
大井川物流センター

阪神ブロック
北港物流センター
西淀物流センター
舞洲物流センター
神戸物流センター
六甲物流センター

九州ブロック
鹿児島物流センター
福岡物流センター
箱崎物流センター
鳥栖物流センター
鳥栖第二物流センター
唐津冷凍工場
長崎冷凍工場
佐世保冷凍工場
都城物流センター
志布志物流センター
川辺物流センター
枕崎冷凍工場
山川冷凍工場

食品販売事業 23拠点

北海道水産事業部
東北水産事業部
東北水産事業部(仙台)
八戸営業所
気仙沼冷凍工場
九州水産事業部
九州水産事業部(福岡)
長崎営業所
枕崎冷凍工場
佐世保冷凍工場
唐津営業所
松浦営業所
畜産事業部
農産事業部
農産事業部(横浜)
十勝営業所
喜茂別パッキングセンター
鹿児島営業所
東京営業部
東京営業部(東京)
横浜営業所
沼津営業所
水産原料部
銚子営業所
茨城営業所
名古屋営業部
大阪営業部
海外事業部

海外拠点

バンコク駐在員事務所

連結子会社

株式会社アライアンスシーフーズ
株式会社クローパートレーディング
THAI YOKOREI CO., LTD. (タイ)
ワンノイ物流センター
バンパコン物流センター
サムロン物流センター

非連結子会社

Best Cold Chain Co.,Ltd. (タイ)

株式の状況 (平成25年3月31日現在)

発行可能株式総数 160,000,000株
発行済株式の総数 52,450,969株
株主数 13,698名

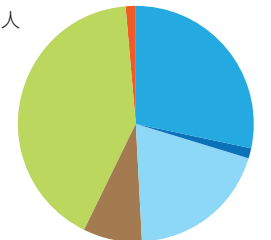
大株主(上位10名)

大株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
第一生命保険株式会社	2,205	4.26
株式会社横浜銀行	2,176	4.21
農林中央金庫	1,473	2.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,471	2.84
株式会社八丁幸	1,411	2.73
横浜冷凍従業員持株会	1,217	2.35
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,186	2.29
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,150	2.22
株式会社松岡	1,034	2.00
株式会社サカタのタネ	1,022	1.97

(注) 持株比率は自己株式(703,150株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況

■ 金融機関 14,958千株 28.5%	■ 外国法人・外国人 4,248千株 8.1%
■ 金融商品取引業者 695千株 1.3%	■ 個人・その他 21,669千株 41.3%
■ その他の国内法人 10,176千株 19.4%	■ 自己名義 703千株 1.4%



世界で見れば年々増加している 水産物の1人当たりの供給量

日本国内では「魚ばなれ」が進んでいると言われる中、世界に目を向けると、先進国では、健康志向の高まりや日本食ブームにより、発展途上国では消費水準の向上によって、水産物に対する需要は増加を続けています。

食用魚類の供給量増加率は 人口増加率をはるかに上回っている!

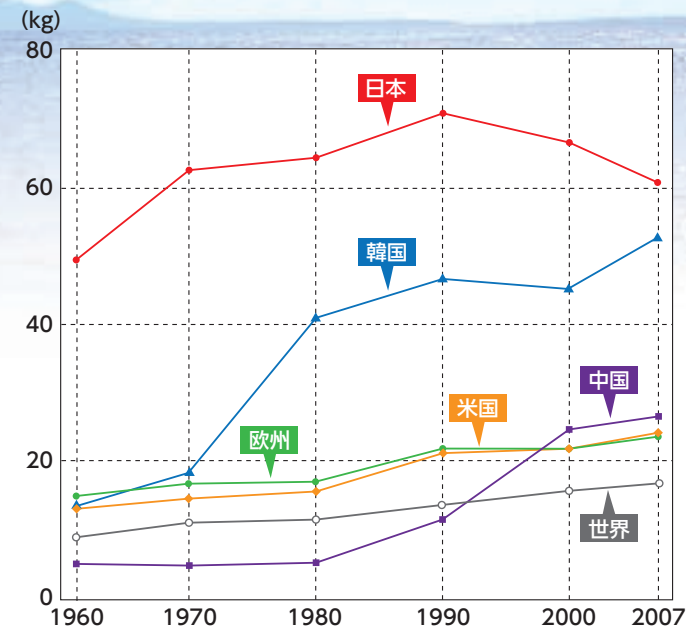
魚介類の生産の持続的な増加と流通経路の進歩に伴い、世界の魚介類供給量は過去50年間に飛躍的に増加しています。1980年から2010年の間に、食用魚類の生産量は、世界人口の増加率(年率1.5%)をはるかに上回る平均年率7.1%で伸張しました。2011年には1億5,400万トン(うち食用向けは1億3,100万トン)に増加すると推計されています。

大陸別に見ると、特に、経済発展が著しく、沿岸域が多いアジアでは、世界全体の3分の2に相当する8,540万トン(1人当たり20.7kg)にまで消費量が拡大しました。

国際連合によると、世界の人口は2012年に70億人を超えましたが、今後さらに増加が続き、2050年には90億人を超えると予測*されています。世界的な人口の増加、開発途上国の消費水準の向上を背景に、今後も世界の水産物消費量は増加の一途を辿ると見込まれます。

* 2012 Revision of World Population Prospects

■ 世界の1人当たり食用水産物年間消費量の推移



(注) Fish, Seafood of the Supply/Cap/Yr(kg)の推移である。欧州は英仏独伊4カ国の単純平均
(資料) FAOSTAT Food Supply 2010.7.24

世界を舞台に活躍する ヨコレイの営業ウーマン

拡大を続ける世界の水産物マーケットで存在感を発揮し、シェア拡大を目指します

日本で漁獲されるサバ、イナダ、イワシ、サンマ、カツオといった青魚を世界の食卓にお届けする仕事をしています。こうした魚は、属種により特徴はさまざまですが、世界の人々に馴染みの深い魚です。日本の皆さんには意外に思われるかもしれませんが、トルコではサバはスモークして食する文化があり、エジプトはサバの消費大国です。また、東南アジアでは、日本産のサバはブランドサバとしてとても人気があります。海外向け販売量は年々増え、前年同期より50%以上伸びました。

今年も4月23日から25日まで、世界有数の「食通の街」として知られるベルギー・ブリュッセルで開催された世界最大規模の「欧州シーフード・エキスポ」に出展しました。世界中から水産物の輸出入業・卸売業が集まるエキスポに身を置くと、世界の水産物マーケットはまだまだ拡

大する可能性が大きいと実感させられます。3回目の出展となる今回は、今までお付き合いのなかった国や地域の方々とは接する機会も増え、南アフリカやブルネイといった国からも引き合いをいただきました。また、寿司文化の世界的な広まりから、取扱量はそれほど大きくはないものの、生食用のハマチやホタテ、日本特有の加工食材イクラなどへの問い合わせも増えているように感じます。

日本全国各地の主要水揚港に買参権を持ち、日本列島北から南まで営業拠点のネットワークを張り、日本中で水揚げされる魚介類を取り扱うことのできるヨコレイならではの強みを活かし、世界各地のニーズに応える品揃えで、さらなるシェア拡大を目指していきます。

海外事業部

長田 あさみ



ヨコレイくん

北海道小樽市と大阪市に物流センターを新設

北海道札幌近郊の小樽市にある、既設の石狩物流センター隣接地に「石狩第二物流センター(仮称)」、大阪湾ベイエリアの中心である大阪市此花区の夢洲地区にある、既設の北港物流センターと舞洲物流センターの近隣に「夢洲物流センター(仮称)」を新設することといたしました。

「高い品質管理」、「環境にやさしい冷蔵倉庫」、「最適な保管環境の提供」という3つのコンセプトに基づき設計され、多様な物流ニーズに高レベルでお応えします。



名称: 石狩第二物流センター(仮称)
所在地: 北海道小樽市銭函5-61-7
規模: 収容能力約24,230トン



名称: 夢洲物流センター(仮称)
所在地: 大阪府大阪市此花区夢洲東1丁目
規模: 収容能力約25,900トン

株主メモ

事業年度	10月1日より翌年9月30日まで
定時株主総会	12月 定時株主総会の議決権 9月30日
基準日	剰余金の期末配当 9月30日 剰余金の中間配当 3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告した日
公告の方法	電子公告 ※電子公告は当社ホームページに掲載します。なお、やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載します。 http://www.yokorei.co.jp/investors/investors/electronic-public-notice/
単元株式数	100株
上場取引所	東京証券取引所(第1部)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話: 0120-232-711 (フリーダイヤル)

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

横浜冷凍株式会社

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい四丁目6番2号 みなとみらいグランドセントラルタワー7階

株主還元方針

■ 配当方針

当社は、株主の皆さまに対する利益還元の実施を重要な経営課題の一つとして認識し、安定的な配当を継続して行うことを基本方針としています。企業価値向上に必要な設備・IT投資等を勘案しつつ、配当性向40%以上を維持していくことを目標としています。

1株当たり年間配当金
20円 (中間配当金
10円)

■ 株主優待

当社は、株主の皆さまからのご支援に対する感謝とヨコレイグループの事業内容をご理解いただくため、年1回、ヨコレイグループ取扱商品を以下の基準でお届けいたします。

対象株主 毎年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された1,000株以上保有の株主さま。

実施時期 11月下旬から発送を予定しています。

ご参考 (2012年9月期優待内容)

- 1,000株以上~3,000株未満 保有の株主さま
「鮭切身詰め合わせ」 鮭切身(約1,000g)
- 3,000株以上 保有の株主さま
「北海道産のホタテ・いくらセット」 いくら醤油漬(500g)、生食用ホタテ貝柱(1,000g)



ホームページのご紹介

▶ <http://www.yokorei.co.jp/>

ヨコレイのホームページでは当社の最新ニュースや事業紹介に加え、IR情報が一目でわかるIR情報インデックスや財務ハイライトなど、個人投資家の皆さまに当社を深くご理解いただけるよう、様々なコンテンツを掲載しております。また、食の安全安心や環境、社会貢献活動などのCSRの取り組みをご紹介します。ヨコレイでは、今後もさらにわかりやすく、充実したホームページを目指してまいります。



TOPページ

IRページ

